

国際園芸博覧会（A1）における日本国出展の基本的考え方

- 2019年北京国際園芸博覧会の日本国出展は、国際園芸博覧会の政府出展として初めて農林水産省の屋内出展、国土交通省の屋外出展を一体的に行ったが、コンテストで大賞を受賞したとともに、屋内出展関係者からも高い評価をいただくことができ、極めて大きな成果があった。
- そのため、今後のA1クラスの国際園芸博覧会についても、農林水産省・国土交通省の連携により、日本国出展として屋内出展・屋外出展を一体的に計画し、統一的なコンセプトにより実施することとする。
- また、2022年アルメーレ国際園芸博覧会（フロリアード2022）については、これまでの経緯もふまえ川口市と連携して出展するとともに、2027年横浜国際園芸博覧会の開催がAIPHに承認されたことも踏まえ、2022年アルメーレ国際園芸博覧会（フロリアード2022）及び2023年ドーハ国際園芸博覧会において、横浜市と連携して2027年横浜国際園芸博覧会の招聘活動を行うこととする。

（参考）

2022年アルメーレ国際園芸博覧会（フロリアード2022）

期間： 2022年4月14日～2022年10月9日
場所： オランダ アルメーレ（60ha）
想定人数： 200万人

2023年ドーハ国際園芸博覧会

期間： 2023年10月2日～2024年3月28日
場所： ドーハ、アルビッダパーク（170ha）
想定人数： 300万人